

**障害者交流センター
今後の使い方は**

答弁 相談や支援の場などで活用したい考えです

Yasuniro Yoshizawa

障害者交流センター



問 障害者交流センター（旧寄居保健所）の建物・土地の取得経緯と金額、使用状況と今後の使い方について伺います。

答 平成24年2月に建物を、29年2月に土地を購入し、土地は保健所敷地として町が県に寄附したものであることから、合計で6割減額された価格で購入しました。建物購入費が約1560万円、土地購入費が約2280万円です。また、エアコン設置やトイレ改修など工事費に約1050万円、備品購入などで約100万円かかりました。建物の1階では、週2回障害者の相談を行っているほか、障害者の団体が交流の場として週1回、また教育サポートセンターとして、相談員・スクールカウンセラーが、教育相談及び適応指導教室に当たっています。2階は現在使っていない状況で、当分の間は障害者や児童・生徒の相談支援の場として活用していきたいと考えています。

未使用の2階で作品展示は

問 現在未使用である2階で、四季折々の玉淀を紹介する写真展か、あるいは寄居町民の作品（絵・書・写真）を掲示する場としての活用などは考えられませんか。

答 現在、公共施設等総合管理計画をつくっています。この計画の中でも、障害者交流センターについて課題を整理し、空き室の有効活用について検討する形で花輪町政としても整理をして、議員からの意見等も総合的に考えながら、しっかりと検討していきます。



有効活用を考えたい障害者交流センター（旧寄居保健所）

とく **(※5) より・E土曜塾**…中学3年生を対象に、高校入試に向けた学力の向上を図ることを目的とした業者委託による土曜授業。小学2・3年生を対象に、放課後に補充学習を実施する「放課後塾」もあります。



庁舎非常用自家発電機（左）と防災倉庫

問 甚大な被害をもたらした東日本大震災から6年を迎えました。大震災以降、町は災害対策基本法及び寄居町地域防災計画に基づいて対策を講じてきましたが、平成29年度予算では、庁舎が倒壊した場合等を想定した業務継続計画を策定します。そこで庁舎代替施設の特定について伺います。

答 大規模災害により、庁舎が使用できなくなった場合を想定し、業務継続計画に定めていきたいと考えています。

問 庁舎非常用発電機の現状と燃料の確保について伺います。

答 現在、2基を庁舎屋上に設置しています。燃料の確保は、業務継続計画に定めていきたいと考えています。

問 実効性の高いものにするための研修・訓練の実施について伺います。

答 業務継続計画策定後に研修・訓練を実施し、課題や改善点は確実に反映させることが重要であると考えています。

活躍が期待されるバイクの確保

問 大規模災害時、道路が遮断した場合、活躍が期待されるのがバイクと考えます。そこで、バイクの確保について伺います。

答 大規模災害に備え、町は各種団体と協力体制の整備を実施していますが、今後、バイク愛好家等の協力も検討していきたいと考えています。

問 乳児用粉ミルク・アレルギー対応非常食の備蓄について伺います。

答 現在、備蓄はしていませんが、平成29年度には購入し、防災備蓄倉庫等に整備していきます。

**大規模災害時の
役場機能の確保は**

答弁 業務継続計画に定めていきたい

Rimi Sato

業務継続計画策定



国土交通省業務継続計画(BCP)

29年度に教育予算増額の理由は

答弁 教育がもたらす社会的利益は有効で効果が大きい

Katsuaki Minegishi

問 平成29年度予算案では、教育費が前年度比1億1231万円増（12.4%増）の10億1879万円と、引き続き町の重点施策の筆頭となっています。教育は個人に利益をもたらすものなので、その負担は教育を受ける個人または家族が負うべきものと考えるか、教育を受けることによる利益は個人だけに留まらず、社会的利益が大きく存在する社会インフラの一つと考えるかでその負担割合は大きく変わります。限られた予算を重点配分する理由を伺います。

答 教育がもたらす社会的利益は、長期ビジョンからも有効かつ大きな効果が得られるものと考え、環境整備と真の学ぶ力の育成に努めます。

問 寄居町の学校教育の課題と特徴について伺います。

答 課題は「基礎学力の底上げ」「英語教育の充実」「中1ギャップの解消」です。また、特徴は、アクティブ・ラーニング（※4）や、考え議論する道徳を先行して実施していること、体力面で県内トップクラスを維持していることです。

問 平成28年度に行われた施策の成果を伺います。

答 「より・E土曜塾」（※5）では67名の参加者があり、数学が平均で偏差値47から53に、英語では48から52になりました。偏差値が5以上伸びた人数の割合は、数学が42.9%、英語が28.6%でした。最高では13伸びた生徒もいます。英検については3級受験者83名中41名、準2級受験者22名中10名が合格しています。

問 学校教育の課題と特徴について伺います。

答 課題は「基礎学力の底上げ」「英語教育の充実」「中1ギャップの解消」です。また、特徴は、アクティブ・ラーニング（※4）や、考え議論する道徳を先行して実施していること、体力面で県内トップクラスを維持していることです。

問 寄居町の学校教育の課題と特徴について伺います。

答 課題は「基礎学力の底上げ」「英語教育の充実」「中1ギャップの解消」です。また、特徴は、アクティブ・ラーニング（※4）や、考え議論する道徳を先行して実施していること、体力面で県内トップクラスを維持していることです。

問 平成28年度に行われた施策の成果を伺います。

答 「より・E土曜塾」（※5）では67名の参加者があり、数学が平均で偏差値47から53に、英語では48から52になりました。偏差値が5以上伸びた人数の割合は、数学が42.9%、英語が28.6%でした。最高では13伸びた生徒もいます。英検については3級受験者83名中41名、準2級受験者22名中10名が合格しています。



未来への投資、鮮明に

とく **(※4) アクティブ・ラーニング**…教員の一方的な講義ではなく、学習者の能動的参加を取り入れた学習法。発見学習、体験学習、グループ・ディスカッションなどがあります。

寄居町の今とこれから
一般質問

今回は8名の議員が質問しました

寄居町のさまざまな課題等について、議員が町に考えを聞くのが**一般質問**。議員は政策提言も含めて質問することができ、内容は自由です。ここでは、全質問項目（下表）と、質問した議員ごとに1項目を要約してお知らせします。

町有施設	庁舎1階喫茶コーナー及び7階の有効活用	佐藤	
	寄居町障害者交流センター	吉澤	P.19
くらし	請願・陳情	吉澤	
	家庭ごみ排出量最少・県内1位を目指して	田母神	
	インバウンド（外国人観光客）戦略	鈴木	P.21
	川の国埼玉はつらつプロジェクト	石井	P.21
人権・福祉	高齢者の移動手段の確保	大澤	
	性的マイノリティー（LGBT）への支援と理解推進	鈴木	
教育	教育における公費拡充は是非か	峯岸	P.18
	中学校の部活動	吉澤	
	どの子にも行きとどいた教育を	田母神	P.20
	教育環境（遊具・体育器具・安全対策）	大澤	P.20
安心・安全	大規模災害への対応	佐藤	P.19
	有害鳥獣対策	佐藤	
	安全で環境への配慮と利便性を備えたまち	石井	
	土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域	津久井	
	寄居町建築物耐震改修促進計画（案）	津久井	
	市街地における防火対策	津久井	P.22